



「声」の欄・投稿規定

- ★「声」の欄は読者の皆さんのお考えを、直接誌面に反映させるためのページです。皮膚病の診療に関する日ごろのご意見、新しいアイデア、ご提言などをお気軽にお寄せください。とくに日夜第一線で診療に活躍しておられる先生方からのご投稿を切望します。
- ★「声」の欄には、また皮膚病に関する“質疑応答”を取り上げます。お寄せいただいたご質問は、その方面の権威に依頼して適切な回答を用意し、誌上で発表いたします。とくに回答者を指名されても結構です。
- ★字数は一般のご投稿は1,200字以内、質問は600字以内を原則とします。
- ★ご投稿は郵送のほか、FAX（番号：03-3984-1003）とE-mail（アドレス：hifubyoh-shinryoh@kk-kyowa.co.jp）にても受け付けております。
- ★原稿には住所・氏名を明記していただきます。

タバコのメントールを抜いたら 痒みがなくなり湿疹が治った

筆者はこれまでメントールやペパーミント油によるアレルギーをいくつか報告してきた。

1995年、メントールとペパーミント油による接触皮膚炎の6例を『山形済生館医誌』に報告した。

同年のど飴のメントールよと思われるアナフィラキシーの75歳女性例を『皮膚科の臨床』誌に報告した。のど飴にメントールが含まれており、メントールのスクラッチテストが陽性で、メントールを含まない飴をなめても症状は出ないことからメントールに対する即時型アレルギーによる蕁麻疹～アナフィラキシーと考えた。

このころ内科領域からミント味の歯磨きによる気管支喘息の発作誘発が報告されており、これらの患者ではアスピリン喘息を合併する場合が多く、アスピリンとメントールの化学構造上の類似性が発症に関与しているのではないかと推測されていた。

2000年、ハッカ入り飴の中止で軽快した難治性湿疹の高齢男性2例を『皮膚科の臨床』誌に報告した。2例ともパッチテストでペパーミント油が陽性であった。

同年、タバコのメントールを抜いたら、痒みがなくなり湿疹がよくなった患者さんを経験した。

症例：60歳代、男。初診2020年7月。3月から体幹と四肢に難治性の湿疹あり、前医で薬の影響も考え内服し

ていた降圧剤を内科で変更してもらったが、皮疹はよくなり当科に紹介になった。歯にアマルガム（水銀合金）が2カ所あり、歯科金属のパッチテスト7日後判定で水銀が疑陽性のためアマルガムを除去したが皮疹はややよくなったかなという程度。何かほかに悪化因子がないかなと考えていたら、以前からメントール入りのタバコを吸っているという。ブラックジャックという韓国の銘柄でメントール入りであった。試しにメントールが入っていない同じ銘柄に変更してもらったところ3日で痒みがなくなり、湿疹も1カ月後に軽快した。

メントール入りタバコのほかの銘柄は試していないが、吸っていたタバコのメントールが悪かったのだろうと考えてメントールのスクラッチテストとパッチテストをしたが、ともに陰性だった。タバコのメントールを抜いて痒みと湿疹がよくなったのでメントールが原因と思われるが、即時型と遅延型の皮膚テストは陰性、どう考えたらいいのだろうか。即時型皮膚反応が陰性のアスピリン蕁麻疹のような機序なのだろうか。

いずれにしても飴やタバコのメントールやハッカを抜いたら痒み、蕁麻疹、湿疹がよくなることもあるようだ。難治なケースで1回はメントールやハッカを抜いてみたい。

角田 孝彦

（山形市立病院済生館皮膚科）